

平成30年度

福祉教育推進校助成金 交付のてびき



【お問い合わせ先】

社会福祉法人高島市社会福祉協議会

高島市勝野 215 番地 高島市役所高島支所 2 階 地域福祉課

☎0740-36-8220

【お近くの社協窓口はこちら】

地域	施設名	住所	電話
マキノ	はあとふるマキノ	マキノ町新保 1095 番地	27-1700
今津	えがお屋本舗上弘部店	今津町上弘部 4 3 8 番地の 2	28-7525
朽木	はあとふる朽木	朽木市場 593 番地 1	38-8000
	寄り合い処「くつつき」(金曜のみ)	朽木市場 324 番地	—
安曇川	安曇川老人福祉センター	安曇川町田中 459 番地	32-1137
高島	高島市役所高島支所 2 階 地域福祉課	勝野 215 番地	36-8220
新旭	新旭総合福祉センター やすらぎ荘	新旭町北畑 45 番地 1	25-5730

～この助成金の財源は社協会費です。～

福祉教育推進校助成金 交付のてびき



目 次

	ページ
～社協会費からの助成金～	
◆福祉教育推進校助成金	
1、助成の目的	2
2、助成対象の団体	2
3、助成の対象となる活動	2
4、助成の額	2
5、助成の財源	2
6、助成金返金・追加請求・活動計画の変更	3
7、提出期限	3
8、助成交付の流れ	4
◆申請書等の記入例	
申請・請求書	5～6
実績報告書	7～8
付 録	9

社協会費の使い道

社協会費は、この助成金交付以外に区・自治会の福祉推進委員会への活動助成金交付や地域福祉に関する情報発信など、市内の福祉活動推進のために活用されています。社協会費の募集は区・自治会ごとに取りまとめをお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

◆福祉教育推進校助成金について

1、助成の目的

福祉のまちづくりのために、一人一人が他者理解や自己理解を通じて主体的に考え、行動を起こす第一歩となる福祉教育の実践に対して助成することを目的とします。

2、助成対象の団体

高島市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校

3、助成の対象となる活動

- (1) 児童・生徒の福祉意識を醸成することを目的とする活動
- (2) 児童・生徒と地域住民を対象とした福祉活動
- (3) 社協等と連携して実施する福祉教育活動

4、助成の額

総活動費の4分の3として、15,000円を上限とします。
(1,000円未満は、切捨てます。)

5、助成の財源

福祉教育推進校助成金は社協会費が財源です。

福祉教育推進校助成金を受けて実施する活動は「社協会費」が財源であることを、学校（園）だよりなどに必ず明記してください。本てびき9ページの「付録」をコピーして切り取り、チラシ等広報物に貼付してください。

チラシなどに切り取って
貼付してくださいね。



6、助成金返金・追加請求・活動計画の変更

以下の場合は、担当職員まで、ご連絡ください。手続き方法は個別にお知らせします。

- (1) 何らかの理由で返金する場合
- (2) 活動計画（6ページ参照）を変更する場合

※なお、上記の変更手続きについては、平成30年3月22日までに
お知らせください。

7、提出期限

種 類	提出期限
申請・請求書	平成30年7月20日(金)
実績報告書	平成31年3月22日(金)

8、助成金交付の流れ

6月中旬 交付のてびき、申請・請求書および実績報告書用紙の配布
学校長・園長様へ社協から送付します。



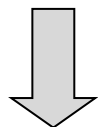
6月中旬～ 申請・請求書（様式1）のご提出
提出期限7月20日（金）（期限厳守でお願いいたします）
社協窓口（表紙参照）へご提出ください。



申請内容の審査をします。 不明な点など伺うことがあります。



8月 助成金交付決定額の通知送付と助成金の振込
交付決定額と振込額をご確認ください。



助成金の返金、事業計画を変更する時は、社協へ必ずご連絡ください。

事業終了後 助成金実績報告書（様式2）のご提出
（添付：事業のチラシ等書類、事業の写真）
提出期限：平成31年3月22日（金）（期限厳守でお願いします）
社協窓口（表紙参照）へご提出ください。



～4月 報告内容の審査ならびに確定通知の発送
社協から確定通知を送付します。
審査の結果、助成金を返金いただくことがあります。

平成30年7月15日

社会福祉法人高島市社会福祉協議会会長 様

1. 申請・請求

※ 提出期限 平成30年7月20日

学 校 名	藤樹小学校		
申 請 者 (学校(園)長等)	氏名	藤樹 一太郎 (印)	(連絡先担当者名) 高島 一子
	住所	〒520-0000 高島市藤樹500番地	TEL 〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇-〇〇〇〇
予 算	総活動費①	35,000 円	
助成金申請額※ (請求書)	(①の3/4の額、上限1万5千円)		15,000 円 ②

※助成金申請額は、1,000円未満は切り捨てです。

2. 予 算

必要な経費 (支出)	内 容	金 額	積 算 内 訳
	講師代	15,000	講師謝礼として5,000円×3回
	環境整備費	10,000	花の苗、土、プランター代
	材料費 (ネイサービスセンター訪問)	7,000	手作りプレゼント材料費
	広報代	3,000	チラシ紙代、コピー代
	合 計	35,000	

財源 (収入)	内 容	金 額	備 考
	社協助成金	15,000	※助成金申請額合計②と同額
	自主財源	20,000	
	合 計	35,000	

3. 振込み口座 (個人口座への振込みができませんので、学校の講座を記入してください。)

金融機関名 ●●銀行	支店名 安曇川支店	預金種別 (普通・当座)
口座番号 1234567	口座名義 【フリガナ】トウジュショウガッコウ 藤樹小学校	

口座名義等の確認のため通帳のコピーを添付してください。

必ずフリガナを書いてください

4. 活動計画 ※「歳末に行う活動」は、別途「年末年始地域たすけあい事業助成金」の申請をしてください。

時期	事業名	対象者（予定人数）	目的と内容
5月〇日	環境整備	小学3、4年生 (55人)	学校周りおよび、地域のふれあい広場などの清掃活動を行い、花の苗を植える。地域の方と清掃を通じて交流を図る。
6月〇日	福祉教育を実施	3年生(25人) ゲスト講師〇〇〇氏	聴覚障がいのある方から普段の暮らしの話を伺い、自分たちにできることを考える
9月〇日	福祉教育を実施	4年生(30人) ゲスト講師〇〇〇氏	視覚障がいのある方から普段の暮らしの話を伺い、自分たちにできることを考える
10月〇日	福祉教育を実施	5年生(40人) ゲスト講師〇〇〇氏	車いす使用者から普段の暮らしについて話を聞き、自分たちにできることを考える
2月〇日	高齢者プレゼント	小学1、2年生 (32人)	社会福祉協議会のテイサービスセンターを訪問、高齢者に手作りのプレゼントを手渡す。お年寄りとの交流を通じて福祉意識を養う。

5. ご意見欄（活動における課題や、社協に対するご意見など）

福祉教育を行う際の講師を紹介してほしい。

※提出締め切りは7月20日（金）です。添付書類：通帳のコピー

平成30年度 福祉教育推進校助成金 実績報告書

平成31年2月20日

社会福祉法人高島市社会福祉協議会会長 様

1. 実績

※ 提出期限 平成31年3月22日

学 校 名	藤樹小学校	
報 告 者 (学校(園)長等)	学校長氏名 藤樹 一太郎 印	(連絡先担当者名) 〇〇 〇〇〇
	住所 〒520- 〇〇〇〇 高島市藤樹500番地	TEL 〇〇-〇〇〇〇
活動実績の合計額	総活動費① 40,000 円	
助成金の実績額	(①の3/4の額、上限1万5千円) 15,000 円 ②	
助成金決定額 (すでに交付を受けた額) ③	15,000 円	
返金額 (決定額③-実績額②)	円	

※助成金実績額は、1,000円未満は切り捨てです。

※実績額②が決定額③より多い場合は、職員にお申し出ください。

2. 決算

	内 容	金 額	積 算 内 訳
活動で使った経費(支出)	講師代	15,000	講師謝礼として5,000円×3回
	環境整備費	12,000	花の苗、土、プランター代
	材料費 (ネイサービスセンター訪問)	8,000	手作りプレゼント材料費
	広報代	5,000	チラシ紙代、コピー代
	合 計 (総活動費①)	40,000	

	内 容	金 額	備 考
財源(収入)	社協助成金	15,000	※助成金の決定額②と同額
	自主財源	25,000	
	合 計	40,000	

3. 活動実績

時期	事業名	参加者（人数）	内容と実施効果
5月〇日	環境整備	小学3、4年生 (55人)	学校周りおよび、地域のふれあい広場などの清掃活動を行い、花の苗を植える。地域の方と清掃を通じて交流を図り顔の見える関係性ができた。
6月〇日	福祉教育を実施	3年生(25人) ゲスト講師〇〇〇氏	聴覚障がいのある方から日常の困り事や生活上の工夫、手話等の伝え方を聞いて、聞こえる聞こえないに関わらず、伝えあうことの大切さや自分たちにできることに気づくことができた。
9月〇日	福祉教育を実施	4年生(30人) ゲスト講師〇〇〇氏	視覚障がいのある方から日常生活における工夫について聞き、出来る事と出来ない事は誰にでもあり、出来ないことを助け合う関係性をつくっていくことが大切だということに気づいた。
10月〇日	福祉教育を実施	5年生(40人) ゲスト講師〇〇〇氏	車いす使用者から普段の暮らしについて話を聞き、心のバリアフリーが大切ということに気づき、福祉のまちづくりについて視野が広がった。
2月〇日	高齢者プレゼント	小学1、2年生 (32人)	社会福祉協議会のテイサービスセンターを訪問、高齢者に手作りのプレゼントを手渡す。交流を通じて、施設利用者と児童・生徒との日常的な関係性に発展するきっかけとなった。介護職に興味を持つ者もいた。

4. ご意見欄（活動における課題や、社協に対するご意見など）

もっといろいろなボランティア活動を展開したいと考えているのでサポートをお願いしたい。

※添付書類：①活動実施の案内チラシ等の広報物 ②活動時の写真

付 録

※コピーして切り取っていただき、チラシ等広報物に表示してください。

きりとり線



きりとり線

この活動は住民の皆さまにご協力いただきました社協会費を財源として実施しています。



福祉教育推進校助成金 のてびき、申請・請求書（様式）、実績報告書（様式）、財源記入例は、高島市社会福祉協議会HPからもダウンロードしていただけます。

<http://takashima-shakyo.or.jp/>

高島市社協

検索

